

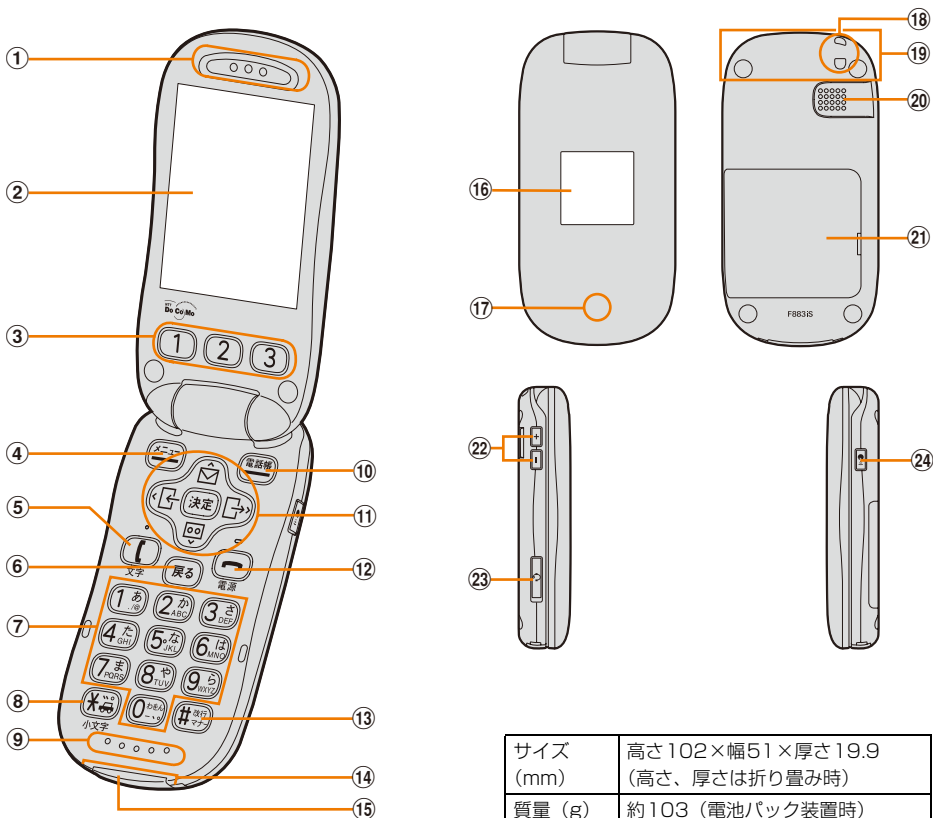
ご使用前の確認

各部の名称と機能	20
ディスプレイの見かた	22
背面ディスプレイの見かた	24
メニュー操作のしかた	27
FOMAカードを使います	31
電池パックの取り付けかた／取り外しかた	34
携帯電話を充電します	35
電池残量の確認のしかた	<電池残量> 39
電源を入れます／切ります	<電源 ON / OFF> 41
日付・時刻を合わせます	<日付時刻設定> 43
相手に自分の電話番号を通知します	<発信者番号通知> 44
自分の電話番号を確認します	<個人情報表示> 46

各部の名称と機能

ここでは、F883iSの各部の名称と、ボタンに割り当てられている主な操作の説明をします。

●操作の説明では、各ボタンをここで説明したイラストで表しています。



① 受話口

相手の声がここから聞こえます。

② ディスプレイ→P22

③ ① ② ③ ワンタッチダイヤル ボタン1/2/3

ワンタッチダイヤルを登録します。
1秒以上押し、登録した相手に電話がかかります。

④ [メニュー] メニューボタン

メニューの表示、ガイド行の左に表示される操作の実行に使用します。
1秒以上押し、ボイスメニューが使用できます。

⑤ [開始/文字] 開始/文字ボタン

電話をかける/受ける、スピーカーホン機能の通話切り替え、留守番電話の伝言メッセージ再生、文字入力の入力モード切り替えに使用します。

⑥ [戻る] 戻るボタン

文字の消去、1つ前の画面に戻るときに使用します。
1秒以上押し、新着情報の表示を消去できます。

サイズ (mm)	高さ102×幅51×厚さ19.9 (高さ、厚さは折り畳み時)
質量 (g)	約103 (電池パック装置時)

- ⑦ ~ ⑨ **ダイヤルボタン**
 電話番号や文字の入力、メニュー項目の実行に使用します。
 を1秒以上押しすと、「+」が表示されます。
- ⑧ *** / 公共モード (ドライブモード) / 小文字ボタン**
 「*」や「[]」の入力、大文字/小文字の切り替えに使用します。
 1秒以上押しすと、公共モードの設定/解除ができます。
- ⑨ **マイク**
 自分の声をここから伝えます。
 ※ マイクをふさぐと、相手にお客様の音が聞こえにくくなったり、音声正常に録音されなくなったりする場合があります。
- ⑩ **電話帳ボタン**
 電話帳の表示、ガイド行の右に表示される操作の実行、スピーカーホン機能での通話切り替えに使用します。
 1秒以上押しすと、電話帳の音声検索ができます。

- ⑪ **マルチカーソルボタン**
決定 **決定ボタン**
 選択した操作の実行、お知らせ情報の表示、チャンネル一覧の表示に使用します。
 1秒以上押しすと、i モードメニューが表示されます。

メール / 上ボタン

メールメニュー画面の表示、カーソルの上方向への移動、音量の調節、新着メール受信後の受信箱のメール一覧の表示に使用します。
 1秒以上押しすと、メール作成画面が表示されます。

伝言メモ / 下ボタン

伝言メモの再生/削除、カーソルの下方向への移動、音量の調節に使用します。
 1秒以上押しすと、伝言メモの設定/解除ができます。

着信履歴 / 左ボタン

着信履歴の表示、カーソルの左方向への移動、画面の切り替えに使用します。

リダイヤル / 右ボタン

リダイヤルの表示、カーソルの右方向への移動、画面の切り替えに使用します。

- ⑫ **終了 / 電源ボタン**
 通話や操作中の機能の終了、応答保留、シークレットモードの解除に使用します。
 2秒以上押しすと、電源のON/OFFができます。

- ⑬ **# / 改行 / マナーモードボタン**
 「#」の入力、改行に使用します。
 1秒以上押しすと、マナーモードの設定/解除ができます。

⑭ **充電端子**

- ⑮ **外部接続端子**
 FOMA ACアダプタ 01 / 02 (別売) など、各種オプション品を接続します。→P37

⑯ **背面ディスプレイ**→P24

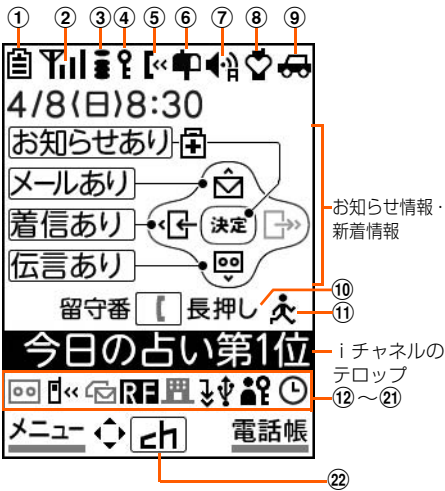
- ⑰ **ランプ**
 充電中は赤色で点灯、ソフトウェアダウンロード中は黄色で点滅します。電話の着信時やメールの受信時、スケジュールアラーム鳴動時などには、お使いのFOMA端末の色によって次の色で点滅します。

端末の色	ランプの色
パールホワイト	白
オーシャンブラック / メタルレッド	赤
アイスブルー	青

- ⑱ **ストラップ取付口**
- ⑲ **FOMAアンテナ**
 アンテナは本体に内蔵されています。
- ⑳ **スピーカー**
 着信音やスピーカーホン機能使用中の相手の声、音声読み上げの音声がここから聞こえます。
- ㉑ **リアカバー**
- ㉒ **音量ボタン**
 背面ディスプレイの照明の点灯、受話音量・着信音量・読み上げ音量・メロディや動画/i モーションの再生音量・目覚まし音量などの調節に使用します。
- ㉓ **イヤホンマイク端子**
 平型スイッチ付イヤホンマイク (別売) などと接続します。→P413
- ㉔ **音声読み上げボタン**
 背面ディスプレイの表示切り替えと照明の点灯、ゆっくりボイスの設定、音声読み上げ、目覚まし音の停止、予定の通知の音声の停止、歩数表示の確認に使用します。

ディスプレイの見かた

ここでは、ディスプレイに表示されるマークの説明をします。



- ① : 電池残量の表示→P39
- ② / : 受信レベルの表示→P41
SELF: セルフモード中→P156
 : ドコモケータイdatalinkを使用してデータ転送中→P433
- ③ : iモード中、接続中→P195
 : SSLページ表示中→P196
 / : パソコンを接続してパケット通信中/データ送受信中→P430
- ④ : シークレットモード中→P157
- ⑤ : 通話中→P50
 : 64Kデータ通信中→P430
 : 音声読み上げ可能/音声読み上げ中→P180
- ⑥ ^{※1} : iモードメール、SMS、メッセージR/Fの受信完了通知
 →P232、P288、P322
- ⑦ : オートスピーカーホン機能の設定中
^{※2、3} →P65
 通信中: iモード中→P195
 取得中: iモードデータ取得中→P249
 漢かな/半角カナ/英字/数字/全角かな/全角カナ: 入力モードの表示→P438

- ⑧ : マナーモード中→P135
^{※3} : 電話着信のバイブレータと着信音量の消音を同時に設定中→P70、P131
 : 電話着信のバイブレータを設定中→P131
 : 着信音量を消音に設定中→P70
 : iモードメール、SMSの受信中→P288、P322
- ⑨ ^{※3} : 公共モード(ドライブモード)中→P74
 : FOMAカードを読み込み中→P41
 : メッセージRの受信中→P232
 : メッセージFの受信中→P232
- ⑩ 留守番 **長押し** ^{※2} : 新着情報
 / : 圏内自動送信メールあり/圏内、歩数計自動送信失敗メールあり→P270、P409
決定長押し ^{※4} : iモードの接続操作の表示→P195
- ⑪ / : 歩数計の使用設定中/歩数計の使用と歩数計自動送信メールを設定中→P405、P409
- ⑫ (赤) : 伝言メモが満杯→P77
^{※2} : 未確認の伝言メモあり→P81
 (黒) : 伝言メモの設定中→P77
- ⑬ : 未確認の不在着信情報あり→P67
- ⑭ ^{※2} : 未読iモードメール、SMSが満杯、FOMAカードにSMSが満杯
 →P289、P323
 (赤) : 未読iモードメール、SMSが満杯→P289、P323
 : FOMAカードにSMSが満杯→P323
 (黒) : 未読iモードメール、SMSあり→P288、P322

- ⑮ (黒/赤) : 未読メッセージRあり/満杯→P232、P233
- ⑯ (黒/赤) : 未読メッセージFあり/満杯→P232、P233
- ⑰ (赤) : センターに i モードメールとメッセージR/Fが満杯、またはいずれかが満杯で未受信あり→P233、P289
- (すべて赤) : センターに i モードメール、またはメッセージR/Fが満杯→P233、P289
- (黒) : センターに未受信の i モードメールとメッセージR/Fあり→P233、P289
- (すべて黒) : センターに未受信の i モードメール、メッセージR、メッセージFのいずれかがあり→P233、P289
- ⑱ : ソフトウェア更新の予約中→P508

- ⑲ : FOMA USB接続ケーブルでパソコンなどと接続中→P430
- ⑳ : 個人情報表示制限中→P158
- ※2 : ダイアル発信制限中→P160
- ㉑ : 目覚まし設定中→P388
- : 通知する予定あり→P391
- : 目覚まし設定中に通知する予定あり→P388、P391
- ㉒ (決定) を押して i チャンネルを表示→P254

- ※1 待受画面に戻ると表示が消えます。
- ※2 現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
- ※3 待受画面以外では、時刻が表示されます。
- ※4 待受画像をお買い上げ時の画像または「表示なし」に設定したときのみ表示されます。

お知らせ情報・新着情報の表示

パターンデータの自動更新の通知があると、待受画面でお知らせ情報として表示します。また、メールの受信や不在着信の記録、伝言メモの録音、留守番電話サービスセンターに伝言メッセージの録音があると、待受画面で新着情報としてお知らせします。

4/8(日)8:30

お知らせあり (決定) を押す : パターンデータの自動更新の通知が表示されます。→P512

メールあり (決定) を押す : 受信箱のメール一覧が表示されます。→P294

着信あり (決定) を押す : 着信履歴の表示画面が表示されます。→P66

伝言あり (決定) を押す : 伝言メモの件数確認画面が表示されます。→P81

留守番 (長押し) を1秒以上押す : 留守番メッセージを再生するかどうかの確認画面が表示されます。→P422

メニュー 電話帳

- (戻る) を1秒以上 : 新着情報の表示を消します。
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに新着情報が表示されます。

ガイド行の表示

ガイド行には、**メニュー**、**決定**、**電話帳**を押して実行できる操作が表示されます（表示される操作は画面により異なります）。表示位置とボタンは、図のように対応しています。



本書では、ガイド行に表示される操作の説明を、対応するボタン（**メニュー**、**決定**、**電話帳**）を使って説明しています。

- ガイド行の \diamond は、マルチカーソルボタンの \leftarrow \rightarrow \uparrow \downarrow に対応しています。
- ガイド行の右側に「ガイド」と表示されるとき **電話帳** を押し、機能の詳細を説明するガイド画面が表示されます。ガイド画面を終了するには、**電話帳** または **戻る** を押します。

ガイド行

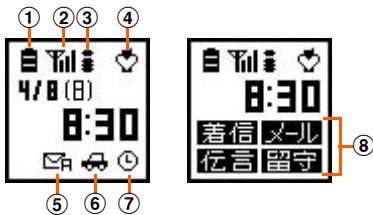
お知らせ

- 待受画面でガイド行に \leftarrow \rightarrow が表示されている場合は、**決定**を押すと i チャンネルを表示できます。→P254

背面ディスプレイの見かた

FOMA端末を折り畳んでいても、設定されている機能やさまざまな情報を確認できます。

表示されるマーク一覧



- ① : 電池残量の表示→P39
- ② / : 受信レベルの表示→P41
SELF : セルフモード中→P156
 : ドコモケータイdatalinkを使用してデータ転送中→P433
- ③ : i モード中、接続中→P195

- ④ : マナーモード中→P135
 : 音声読み上げ可能／音声読み上げ中→P180
- ⑤ / : 圏内自動送信メールあり／圏内、歩数計自動送信失敗メールあり→P270、P409
- ⑥ : 公共モード（ドライブモード）中→P74
- ⑦ : 目覚まし設定中→P388
 : 通知する予定あり→P391
 : 目覚まし設定中に通知する予定あり→P388、P391
- ⑧ 新着情報→P23
※ 他のマークより優先して表示されます。

主な表示

FOMA端末を折り畳んでいるときに、電話を着信した場合やメール受信中等、待受中から変化があると、状態を表示してお知らせします。主な表示内容は次のとおりです。

■ 電話の状態表示



<電話がかかってきたとき>

通話中や応答保留中、切断中などの状態が表示されます。

- 電話の受けかた→P62
- ※ 背面表示設定を「表示しない」に設定しているときは、電話がかかってきても相手の電話番号や名前は表示されません。→P138

■ 伝言メモの状態表示



応答中や録音中に表示されます。

- 伝言メモ→P77

■ iモードメールやSMS、メッセージR/Fの状態表示



<iモードメール受信中のとき>

受信中や問合せ中などの状態が表示されます。

- iモードメール受信→P288
- SMS受信→P322
- メッセージR/F受信→P232

■ 圏内自動送信や歩数計自動送信メールに失敗したとき



- 圏内自動送信→P270
- 歩数計自動送信メール→P409

■ 目覚まし時刻や予定を通知する日時になったとき







<目覚まし時刻になったとき>

- 目覚まし→P388
- 予定表→P390

- このほかにも、iモード問合せやSMS問合せ、メロディの再生、データ通信を行った場合にも状態表示されます。

表示の切り替え

背面ディスプレイの照明が点灯しているときに  を押し、押すたびに時計表示が切り替わります。消灯しているときは、   のいずれかを押しと点灯します。



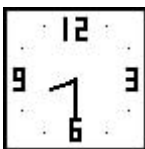
<デジタル時計と通常歩行の歩数>



<デジタル時計といきいき歩行の歩数>



<デジタル時計大>




<アナログ時計>



<デジタル時計>

- 歩数計を「利用しない」に設定しているときは、デジタル時計と通常歩行の歩数、デジタル時計といきいき歩行の歩数は表示されず、デジタル時計→デジタル時計大→アナログ時計の順に表示されます。
- 切り替えた表示の設定は、電源を入れ直すか各種設定リセットを行うまで保持されます。
- デジタル時計の表示形式は、24時間形式または12時間形式に設定できます。→P143

お知らせ

- 背面ディスプレイに情報が表示されているときにFOMA端末を開くと、表示は消えます。
- FOMA端末を折り畳んでいるときに電話がかかってきたりメールを受信したりして背面ディスプレイの表示が自動的に切り替わった場合は、照明が自動的に点灯します。
- デジタル時計と通常歩行の歩数、デジタル時計といきいき歩行の歩数を表示しているときは、背面ディスプレイ下部のマークは表示されません。また、デジタル時計大、アナログ時計を表示しているときは、すべてのマークが表示されません。ただし、新着情報のマークが表示される時はデジタル時計に切り替わり、マークが確認できます。新着情報を確認すると、元の時計表示に戻ります。
- 電話着信時の相手の情報やメロディ再生中の題名が、半角で9文字、全角で5文字を超える場合は、スクロールして表示されます。再びスクロール表示するときは、 を押します。

メニュー操作のしかた

待受画面で **メニュー** を押すと表示されるメニュー画面や、**メール** を押すと表示されるメールメニュー画面などから、各種機能を選択して実行します。機能を選択するには、マルチカーソルボタンを押して選択する方法と、各機能に対応したダイヤルボタンを押して選択する方法の2とおりがあります。

- メニュー画面から選択して実行できる機能については、「メニュー一覧」をご覧ください。
→P454

マルチカーソルボタンでの機能選択

〈例〉「ボタンを押した時の音を設定する」を実行するとき

1 待受画面で **メニュー** を押す

1 電話帳を使う 履歴を見る	メニュー画面が表示されます。 カーソル：選択している機能の色が変わります。
2 メールを使う	次の階層のメニューがあることを示します。
3 音モードを使う	表示中のメニュー画面に続きがある場合に表示されます。 続きを表示するときは、 戻る 進む を数回押してカーソルを移動するか、 戻る 進む を押して画面を切り替えます。
4 画像・音声・ ビデオを使う	
決定	

2 **戻る** を押して「**8** 初めに行う設定」を選択 ▶ **決定** を押す

「初めに行う設定」のメニュー画面が表示されます。

- **戻る** : カーソルが上の機能に移動します。
- **進む** : カーソルが下の機能に移動します。

3 **戻る** を押して「**6** ボタンを押した時の音を設定する」を選択 ▶ **決定** を押す

ボタンを押した時に音を鳴らしますか？


- | |
|---------|
| 1 鳴らす |
| 2 鳴らさない |

4 を押して「1 鳴らす」または「2 鳴らさない」を選択 ▶ を押す


ボタン確認音を設定した旨のメッセージが表示されます。

5 を押す

メニュー画面に戻ります。

-  を押すと待受画面に戻ります。

タイル形式のメニューから機能を選択するとき

メニューの形式を「タイル形式」に設定したときは、待受画面で  を押すと表示されるメニュー画面での操作方法が異なります。また、メニュー項目名が異なるものがあります。

- メニュー形式の選択とメニュー項目名について → P139





1 待受画面で を押す



メニュー画面が表示されます。

カーソル：選択している機能の色が変わり、拡大表示されます。

2 を押して「基本設定」を選択 ▶ を押す

-  : カーソルが上の機能に移動します。
 -  : カーソルが下の機能に移動します。
 -  : カーソルが左の機能に移動します。
 -  : カーソルが右の機能に移動します。
- ・以降の操作は通常のメニューと同じです。

ダイヤルボタンでの機能選択<ショートカット操作>

各機能にはそれぞれ番号が割り当てられており、各機能の左側に表示されています。機能は、対応するダイヤルボタンを押して選択できます。これをショートカット操作といいます。

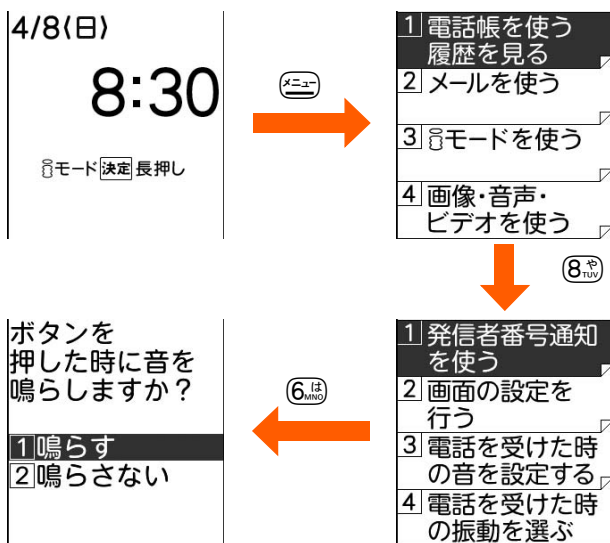
本書では、待受画面で(メニュー)を押してメニュー画面を表示し、該当するダイヤルボタンを順番に押すショートカット操作で、主に操作を説明しています。

メニューの形式を「タイル形式」に設定したときは、メニュー項目名が本書での記載と異なるものがありますが、操作するダイヤルボタンは同じです。

●メニュー形式の選択とメニュー項目名について→P139

<例>「ボタンを押した時の音を設定する」を実行するとき

1 待受画面で(メニュー)▶「[8]初めに行う設定」▶「[6]ボタンを押した時の音を設定する」を押す



2 「[1]鳴らす」または「[2]鳴らさない」を押す

3 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

●(戻る)を押すと待受画面に戻ります。

待受画面や1つ前の画面に戻るには

機能を選択した後で、待受画面や1つ前の画面に戻るときは次のボタンを押します。

戻る：1つ前の画面に戻ります。

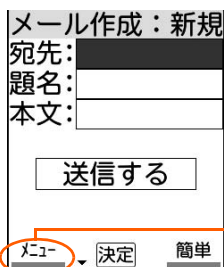
←：待受画面に戻ります。

サブメニューからの機能選択

ガイド行の左側に **メニュー** が表示されているときは、**メニュー** を押してサブメニューを表示し、さまざまな操作ができます。

〈例〉メール作成画面のサブメニューを表示するとき

1 待受画面で **メール** を1秒以上押す

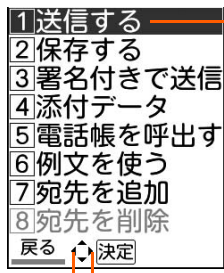


メール作成画面が表示されます。

- 簡単メール作成画面が表示されたときは、**電話帳** ▶ 「1 切替える」を押します。

ガイド行の左側に **メニュー** が表示されます。

2 **メニュー** を押す



サブメニューが表示されます。

- サブメニューは、操作する画面により異なります。

カーソル：選択している機能の色が変わります。

表示中のメニュー画面に続きがある場合に表示されます。

続きを表示するときは、**メール** **戻る** を数回押してカーソルを移動するか、**戻る** **戻る** を押して画面を切り替えます。

3 **メール** **戻る** を押して機能を選択 ▶ **決定** を押す

機能が実行されます。

- 画面左はしに表示される番号に対応するダイヤルボタンを押しても選択できます。
- サブメニュー表示中に **メニュー** を押すと、サブメニューが閉じます。

お知らせ

● 各種ロック機能を設定している場合や、FOMAカードを取り付けていない場合などは、機能を選択すると実行できない理由などを表示します。サブメニューの場合は、実行できない機能の文字がグレーなどで薄く表示され、その機能は選択できません。



FOMAカードを使います

FOMAカードとは、電話番号などのお客様情報を記録できるカードです。FOMA端末に挿入して使用します。

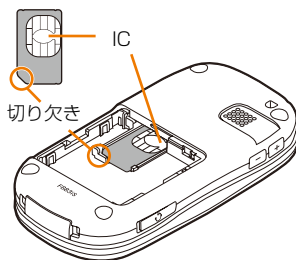
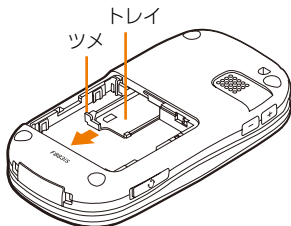
- FOMAカードを正しく取り付けていない場合や、FOMAカードに異常がある場合は、電話の発着信やメールの送受信などはできません。
- FOMAカードの取り扱いについての詳細は、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

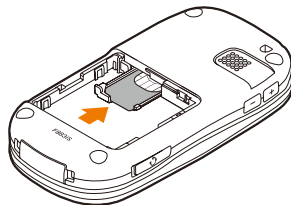
- 電源を切ってからFOMA 端末を折り畳み、両手で持ったまま行ってください。FOMA 端末を置いた状態で行くと、背面ディスプレイが破損するおそれがあります。
- FOMAカードのIC部分に触れたり、傷を付けたりしないようご注意ください。
- リアカバーと電池パックの取り付けかた／取り外しかた→P34

取り付けます

- ① ツメを引き、「カチッ」と音がするまでトレイを引き出します。
- ② IC面を上にして、図のような向きでFOMAカードをトレイに載せます。

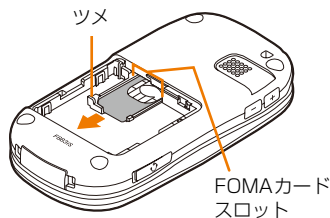


- ③ トレイを奥まで押し込みます。



取り外します

- ① ツメを引き、「カチッ」と音がするまでトレイを引き出し、FOMAカードを静かに取り外します。取り外したFOMAカードは、なくさないようにご注意ください。



お知らせ

- FOMAカードを無理に取り付けようとしていたり、引き抜こうとしていたりすると、FOMAカードやトレイが壊れる場合がありますのでご注意ください。
- トレイを強く引き抜いて外れてしまった場合には、FOMAカードスロット内部のガイドレールに合わせてまっすぐに押し込んでください。このとき、FOMAカードは取り外した状態で行ってください。

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号があります。→P147
ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、4～8桁の任意の数字に変更できます。→P150

FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護したり、第三者が著作権を有するデータやファイルを保護したりするための機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。

- FOMA 端末にお客様の FOMA カードを取り付けている状態で、サイトなどからファイルやデータをダウンロードしたり、メールに添付されたデータを取得したりすると、それらのデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
- FOMAカードを差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルの表示や再生はできなくなります。
- 動作制限の対象となるデータは次のとおりです。

● 画面メモ	● メッセージR/F	● i モードメール添付のデータ
● i モーション	● 画像（アニメーション、Flashを含む）	● メロディ

お知らせ

- FOMAカード動作制限機能の対象になっているデータを、待受画面や着信音などに設定しているとき、別のFOMAカードに差し替えて使用したり、FOMAカードを取り付けずに使用したりすると、待受画面や着信音などの設定がお買い上げ時の状態に戻ります。データをダウンロードしたときに使用したFOMAカードを取り付けると、設定は元の状態に戻ります。
- ドコモケータイdatalinkを使用して入手したデータには、FOMAカード動作制限機能が設定されません。
- 次のメニューの設定項目にはFOMAカードに保存されるものがあります。FOMAカードを差し替えると、差し替えたFOMAカードに保存されている内容が表示されます。詳細は「メニュー一覧」をご覧ください。→P454
 - ・自分の電話番号を見る
 - ・SMSを設定する
 - ・証明書の使用と表示を設定する
 - ・FOMAカードのPINコードを設定する

FOMAカードの機能差分について

FOMA端末でFOMAカード（青色）をご使用になる場合、FOMAカード（緑色／白色）とは次のような違いがありますので、ご注意ください。

項目	FOMAカード （青色）	FOMAカード （緑色／白色）	参照先
FOMAカード電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	P98
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可	P245
WORLD WINGサービスの利用	利用不可	利用可	P33
サービスダイヤル	利用不可	利用可	P427

WORLD WING

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色／白色）とサービス対応端末で、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモの国際ローミングサービスです。

※2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいたお客様は、WORLD WINGのお申し込みは不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいたお客様や途中でご解約されたお客様は、再度お申し込みが必要です。

※2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをお申し込みいただいていないお客様は、お申し込みが必要です。


※一部ご利用になれない料金プランがあります。

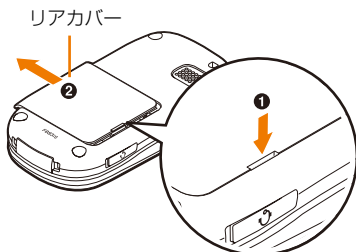
※万が一、海外でFOMAカード（緑色／白色）の紛失・盗難にあった場合などは、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

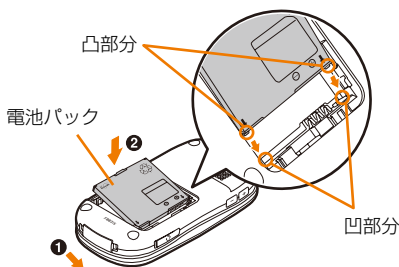
- 電源を切ってから FOMA 端末を折り畳み、手に持って行ってください。FOMA 端末を置いた状態で行うと、背面ディスプレイが破損するおそれがあります。
- 電池パックを取り外すと、ソフトウェア更新の予約が解除される場合があります。また、日付時刻設定を「手動で設定する」に設定中に電池パックを取り外すと、日付・時刻が消去される場合があります。

取り付けます

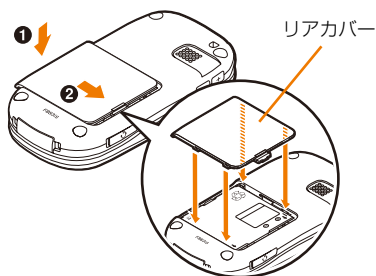
- ①指で①の方向にリアカバーの「」部分を押し付けながら、②の方向に約2mm スライドさせて外します。



- ②電池パックのラベル面を上にして、電池パックの凸部分を FOMA 端末の凹部分に合わせて①の方向に差し込み、②の方向に押し付けてはめ込みます。

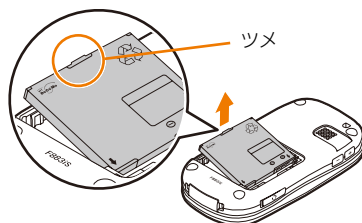
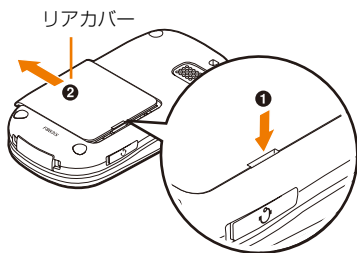


- ③リアカバーの4箇所のツメを FOMA 端末のミゾに合わせます。FOMA 端末とリアカバーにすき間が生じないように①の方向に押さえながら、②の方向にスライドさせて取り付けます。



取り外します

- ① 指で①の方向にリアカバーの「」部分を押し付けながら、②の方向に約2mmスライドさせて外します。
- ② 電池パックのツメをつまんで、矢印方向に持ち上げて取り外します。



お知らせ

- 電池パックを無理に取り付けようとするとFOMA端末の端子が破損する場合があります。ご注意ください。
- 上記以外の方法で取り付け/取り外しを行ったり、力を入れすぎたりすると、FOMA端末やリアカバーが破損するおそれがあります。

携帯電話を充電します

お買い上げのとき、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタまたはDCアダプタで充電してからお使いください。

- 電池パック単体での充電はできません。
- F883iSの性能を十分に発揮するために、必ず電池パックF09をお使いください。

充電時間（目安）

F883iSの電源を切って、電池パックを空の状態から充電したときの時間です。電源を入れたまま充電すると、充電時間は長くなります。

FOMA ACアダプタ 01 / 02	約130分	FOMA DCアダプタ 01 / 02	約130分
---------------------	-------	---------------------	-------

十分に充電したときの使用時間（目安）

充電のしかたや使用環境によって、使用時間は変動します。

連続待受時間 ^{※1}	静止時：約400時間（約560時間） 移動時：約280時間（約400時間）
連続通話時間 ^{※2}	約200分

※1（ ）内の時間は、歩数計を「利用しない」に設定している状態での目安です。

※2 電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

- 連続待受時間はF883iSを折り畳んで電波を正常に受信できる状態で移動した場合の目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受時間は約半分程度になる場合があります。iモード通信を行うと通話や通信、待受の時間は短くなります。また、通話やiモード通信をしなくてもFOMA端末を開いていたり、iモードメールの作成、音声読み上げ、動画／iモーションの再生、マルチアクセスの実行、データ通信などをしていたりすることによっても、通話や通信、待受の時間は短くなります。

電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。充電しながらiモード通信などを長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。

お知らせ

- FOMA端末を開いた状態のときや通話中、通信中は充電時間が長くなる場合があります。充電を早く完了させるには、操作を終了し、FOMA端末を折り畳んでから充電することをおすすめします。

充電について

詳細は、FOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA 海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。

- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ 02はAC100Vから240Vまで対応しています。
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応していますが、ACアダプタのプラグ形状はAC100V（国内仕様）です。

電池パックの上手な使いかた

- 電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。
FOMA端末の電源を入れた状態で充電が完了した後は、FOMA端末は電池パックから電源が供給されます。そのままの状態でも長時間置くと、電池パックが消費され、短い時間しか使用できずに電池残量警告音が鳴ってしまう場合があります。その場合は、FOMA端末をACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットし直してから充電を行ってください。
- 環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。



Li-ion

充電時の注意事項

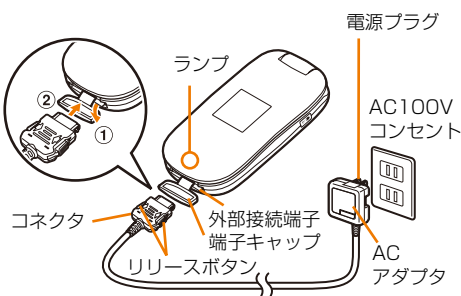
- 充電を開始すると、ランプが赤色で点灯します。ただし、環境によっては充電開始時にランプがすぐに点灯しない場合がありますが、故障ではありません。しばらくたっても点灯しない場合は、FOMA 端末を AC アダプタや卓上ホルダ、DC アダプタから外して、もう一度セットし直してから充電を行ってください。充電開始後、しばらくたっても点灯しない場合は、ドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。
- 充電中は FOMA 端末や電池パック、卓上ホルダ、AC アダプタ、DC アダプタが温くなる場合がありますが、異常ではありません。ただし、充電中にポケット通信などを行うと、FOMA 端末内部の温度が上昇し、充電が正常に終了しない場合があります。その場合は、FOMA 端末の温度が下がるのを待って充電を行ってください。
- 充電中に電話を着信したり、メールを受信したりしてランプが使用されると、ランプが一時的に消灯したり、異なる色で点灯したりしますが、しばらくたつと赤色で点灯します。これらの理由以外で充電中にランプが点滅する場合は、「故障かな?」と思ったら、まず「チェック」をご覧ください。→P494
- 十分に充電されている電池パックを FOMA 端末に取り付けて AC アダプタや卓上ホルダ、DC アダプタに接続すると、ランプが一瞬点灯してすぐに消灯する場合がありますが、故障ではありません。
- 電源を切っているときや通話中、通信中、マナーモード中、公共モード中、充電確認音を「知らせない」に設定しているときは、確認音は鳴りません。

ACアダプタ／DCアダプタでの充電方法

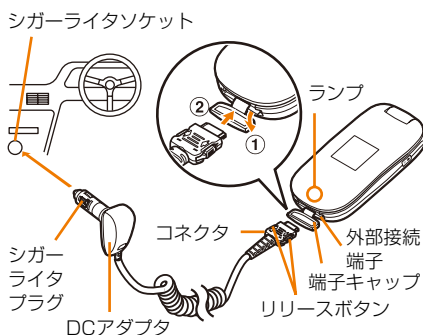
必ず FOMA AC アダプタ 01 / 02 (別売) または FOMA DC アダプタ 01 / 02 (別売) の取扱説明書もご覧ください。

- (1) FOMA 端末に電池パックを取り付けます。
- (2) FOMA 端末の外部接続端子の端子キャップを開き (①)、AC アダプタまたは DC アダプタのコネクタを矢印の表記面を上にして、FOMA 端末と水平に差し込みます (②)。
 - 端子キャップが開きにくい場合は、FOMA 端末を開いて行ってください。
- (3) AC アダプタの場合は電源プラグを起こして AC 100V コンセントへ差し込みます。DC アダプタの場合はシガーライタープラグを車のシガーライターソケットへ差し込みます。

〈ACアダプタ〉



〈DCアダプタ〉



- (4) 充電開始音が鳴り、ランプが点灯し、電池マークが点滅します。
- (5) 充電が終わると充電完了音が鳴り、ランプが消灯し、電池マークの点滅が止まります。
- (6) ACアダプタの場合は電源プラグをコンセントから抜きます。
DCアダプタの場合はシガーライタープラグをシガーライターソケットから抜きます。
- (7) コネクタの両側のリリースボタンを押してFOMA端末から水平にコネクタを外し、端子キャップを閉じます。

お知らせ

- ACアダプタやDCアダプタのコネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
- FOMA端末を使用しないときや車から離れるときは、DCアダプタのシガーライタープラグをシガーライターソケットから外し、FOMA端末からDCアダプタのコネクタを抜いてください。
- DCアダプタのヒューズ(2A)は消耗品です。交換するときは、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

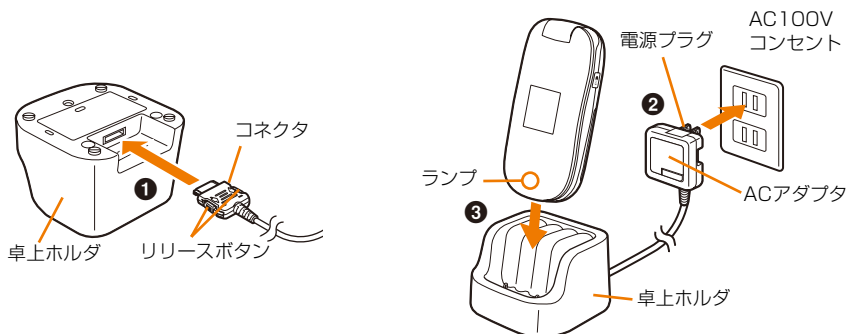
卓上ホルダと組み合わせた充電方法

FOMA ACアダプタ 01/02 (別売) と卓上ホルダ F18 (別売) を組み合わせると、FOMA 端末の端子キャップを開かないで充電できます。

必ず卓上ホルダ F18 (別売) の取扱説明書もご覧ください。

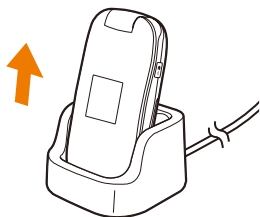
- 卓上ホルダだけでは充電できません。ACアダプタが必要です。
- 卓上ホルダは平らな面に置いて使用してください。また、卓上ホルダへの取り付けや取り外しを行うときは、FOMA端末を折り畳んだ状態で行ってください。
- 正しく取り付けるために、端子キャップは閉じた状態で卓上ホルダに取り付けてください。
- FOMA端末を卓上ホルダへ取り付けるときは、ストラップなどをはさまないようにご注意ください。

- (1) 卓上ホルダの底面を上にして、矢印の表記面を上にしたACアダプタのコネクタを水平に差し込みます (①)。
- (2) ACアダプタの電源プラグを起こしてAC100Vコンセントへ差し込みます (②)。
- (3) 電池パックを取り付けたFOMA端末を卓上ホルダに差し込みます (③)。
- (4) 充電開始音が鳴り、ランプが点灯し、電池マークが点滅します。



- (5) 充電が終わると充電完了音が鳴り、ランプが消灯し、電池マークの点滅が止まります。

(6) FOMA端末を卓上ホルダから取り外します。



卓上ホルダを押さえながらFOMA端末を持ち上げ、矢印方向に引き抜きます。

- 長時間使用しないときはACアダプタをコンセントから抜いてください。

お知らせ

- ACアダプタのコネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

電池残量

電池残量の確認のしかた

ディスプレイ上部に表示される電池マークで、電池残量の目安が表示されます。

- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに電池残量が表示されます。

電池マーク

	→		→	
(電池残量3) 十分残っています		(電池残量2) 少なくなっています		(電池残量1) 電池残量がほとんどありません。充電してください



電池残量の確認

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ 「9 詳細な設定」 ▶ 「8 情報の表示やリセットを行う」 ▶ 「5 電池残量を確認する」を押す

(電池残量3)	(電池残量2)	(電池残量1)
電池残量	電池残量	電池残量
音が3回鳴ります	音が2回鳴ります	音が1回鳴ります

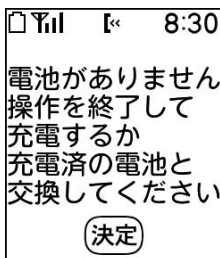
電池残量が表示され、しばらくたつとメニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。

電池が切れそうになると

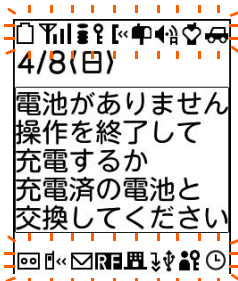
メッセージ表示や電池残量警告音でお知らせします。充電を開始すると電池残量警告音は止まりますが、すぐに電池残量警告音を止める場合は(決定)を押してください。

■ 通話中のとき



受話口から電池残量警告音が聞こえ、電池残量がない旨のメッセージが表示されます。このメッセージは(決定)(戻る)のいずれかを押すと消えます。電池残量警告音が聞こえてから約20秒後に通話が切れて、次の待受中のときと同じ状態になります。

■ 待受中のとき



スピーカーから電池残量警告音が鳴り、電池残量がない旨のメッセージが表示されます。このメッセージは(決定)を押すと消えますが、しばらくたつと電池残量警告音が鳴り、すべてのマークが点滅して、再び電池残量がない旨のメッセージが表示されます。その約1分後に自動的に電源が切れます。

- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「電池残量なし」と表示されます。

電池残量警告音の消しかた

お買い上げ時 鳴らす

- 1 待受画面で(メニュー)▶「[9]詳細な設定」▶「[4]音を設定する」▶「[2]電池残量の警告音を設定する」を押す

電池残量警告音を鳴らすかどうかの確認画面が表示されます。

- 2 「[2]鳴らさない」を押す

電池残量警告音を解除した旨のメッセージが表示されます。

- 「[1]鳴らす」：電池残量警告音を鳴らすようにします。

- 3 (決定)を押す

メニュー画面に戻ります。

- (戻る)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 本機能を「鳴らさない」に設定しても、通話中に電池が切れそうになったときは受話口から電池残量警告音が鳴ります。
- 本機能を「鳴らす」に設定しても、電源を切っているときやマナーモード中、公共モード中は、電池残量警告音は鳴りません。

電源ON/OFF

電源を入れます／切ります

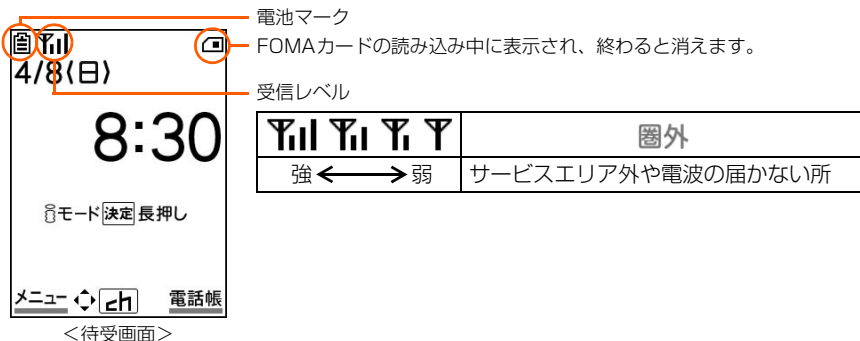
- ソフトウェア更新を実行するかどうかの確認画面が表示される場合があります。→P504

電源を入れます

1 電源ボタンを2秒以上押す

バイブレータが振動し、起動中である旨のメッセージが表示された後、次の待受画面が表示されます。

- 初めて電源を入れたとき→P42



電源を切ります

1 電源ボタンを2秒以上押す

電源切断中である旨のメッセージが表示されたあと、電源が切れます。

初めて電源を入れたときは

次の画面が表示されるので、必要に応じて設定や操作を行います。

① 音声読み上げの設定画面で「**1**自動で読み上げ」～「**4**後で設定する」のいずれかを押す

音声読み上げを
設定してください

- 1 自動で読み上げ
- 2 手動で読み上げ
- 3 読み上げなし
- 4 後で設定する

- 音声読み上げの概要と設定→P180、P181
- 設定した内容は後から変更できます。
- 「**4**後で設定する」を押し、次に電源を入れ直すまでに設定を行わなかった場合には、再び設定画面が表示されます。

② 日付・時刻の設定画面で「**1**自動で設定する」または「**2**手動で設定する」を押す

日付と時刻を自動
で設定しますか？

- 1 自動で設定する
- 2 手動で設定する

- 日付時刻設定の概要と設定→P43
- ドコモのネットワークからの時刻情報が取得できたときは表示されません。
- 設定した内容は後から変更できます。
- **戻る** または **戻る** を押し、次に電源を入れ直すまでに日付・時刻が設定されなかった場合には、再び設定画面が表示されます。

③ 歩数計の設定画面で **決定** を押す

歩数計を
設定します。
歩数計の測定値は
あくまでも
目安として
ご利用ください

決定

- 歩数計の概要と設定→P403、P405
- 日付・時刻が設定されていないときは表示されず、歩数計は「利用しない」に設定されます。
- 設定した内容は後から変更できます。

④ ソフトウェア更新を実行するかどうかの確認画面で「**1**実行する」を押す

ソフトウェア更新
を実行しますか？

- 1 実行する
- 2 実行しない

- ソフトウェア更新の概要と設定→P504、P506
- 通信できない状態などでは表示されません。

お知らせ


- サービスエリア外や電波の届かない所で **圏外** が表示されているときに通話や通信を行うには、表示が消える場所まで移動してください。ただし、**Y!** が表示されていて、移動せずに通話していても、通話が切れる場合があります。
- FOMAカードを取り付けていない場合は、FOMAカードの挿入が必要な旨のメッセージが表示されます。電源を切り、FOMAカードを取り付けてから電源を入れ直してください。→P31
- PIN1コード使用の設定中は、PIN1コードの入力が必要です。→P149
- 日付・時刻が設定されていないときは、日付と時刻を設定する旨のメッセージが表示されます。→P43

日付・時刻を合わせます

お買い上げ時 自動で設定する

ドコモのネットワークからの時刻情報を基に自動で時刻を補正するように設定したり、手動で設定したりできます（通常は手動で設定する必要はありません）。

〈例〉手動で日付・時刻を設定するとき

1 待受画面で  ▶ 「**8** 初めに行う設定」 ▶ 「**9** 時計を設定する」 ▶ 「**1** 日付と時刻を設定する」を押す

2 「**2** 手動で設定する」を押す

日付と時刻を自動で設定しますか？





1 自動で設定する
2 手動で設定する

■ 自動で時刻補正をするとき

「**1** 自動で設定する」を押す

日付と時刻を自動で設定する旨のメッセージが表示されます。操作6に進みます。

3 日付を入力する

- 西暦は下2桁を入力します。月、日が1桁のときは、前に0を付けます。
- 2000年1月1日から2050年12月31日まで設定できます。
-   : 変更する数字を選択できます。
-   : 日付と時刻の入力を切り替えます。

4 時刻を入力する





日付と時刻を入力してください
(0~23時0~59分)

日付

2007年04月08日

時刻

08時30分

- 24時間制 (00:00~23:59) で設定します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。
-   : 変更する数字を選択できます。
-   : 日付と時刻の入力を切り替えます。

5 決定を押す

日付と時刻を設定した旨のメッセージが表示されます。

6 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

● (←)を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 「自動で設定する」に設定すると、電源を入れたときなどに時刻の補正を行います。ただし、FOMAカードを取り付けていない場合や電波状態によっては、補正は行われません。
- 「自動で設定する」に設定していても、数秒程度の誤差が生じる場合があります。
- 「手で設定する」で日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。その場合は、もう一度設定を行ってください。
- 一度も自動時刻補正が行われず、日付・時刻が「-」で表示されているときは、時計やFlash画像などが正しく表示されません。また、次の機能は使用できません。
 - ・SSL通信（認証）
 - ・ユーザ証明書の操作
 - ・再生期限制限や再生期間制限が設定されている i モーションの取得、再生
 - ・自動電源ON設定
 - ・自動電源OFF設定
 - ・通知時刻自動電源ON設定
 - ・目覚まし
 - ・予定表
 - ・歩数計
 - ・ソフトウェア更新
 - ・スキャン機能のパターンデータ更新
- 一度も自動時刻補正が行われず、日付・時刻が「-」で表示されているときは、次の機能で日時が記録されず、「---/--/--」などと表示されます。
 - ・リダイヤル
 - ・着信履歴
 - ・伝言メモ
 - ・送信メール、未送信メールの日時

発信者番号通知

相手に自分の電話番号を通知します

電話をかけたとき、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際は、十分にご注意ください。
- 相手の電話機がデジタル携帯電話など、発信者番号の表示が可能なおきにのみ表示されます。
- サービスエリア外や電波の届かない所では、発信者番号通知は設定できません。電波状態のよい所で行ってください。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 電話をかけるたびに、発信者番号を通知／非通知にすることができます。→P56

1 待受画面で **メニュー** ▶ 「**8**初めに行う設定」 ▶ 「**1**発信者番号通知を使う」 ▶ 「**1**発信者番号通知を設定する」を押す

ネットワーク暗証番号の入力画面が表示されます。

- ネットワーク暗証番号について→P146
- 入力したネットワーク暗証番号は「*」で表示されます。

2 4桁のネットワーク暗証番号を入力▶ **決定**を押す

相手に電話番号を通知しますか？

- 1 通知する
- 2 通知しない

3 「**1**通知する」を押す

ネットワークに接続され、発信者番号通知を設定した旨のメッセージが表示されます。

4 **決定**を押す

メニュー画面に戻ります。

- **戻る**を押すと待受画面に戻ります。

設定内容の確認

1 待受画面で **メニュー** ▶ 「**8**初めに行う設定」 ▶ 「**1**発信者番号通知を使う」 ▶ 「**2**発信者番号通知設定を確認する」を押す

発信者番号通知の設定を確認しますか？

- 1 確認する
- 2 確認しない

2 「**1**確認する」を押す

ネットワークに接続され、設定内容が表示されます。

3 **決定**を押す

メニュー画面に戻ります。

- **戻る**を押すと待受画面に戻ります。

自分の電話番号を確認します

お買い上げ時 名称未登録 電話番号：ご契約電話番号 メールアドレス：-

自分の電話番号（自局電話番号）や登録した名前、メールアドレスを確認します。

1 待受画面で 「0 自分の電話番号を見る」を押す

個人情報(基本)
名称未登録
電話番号
090XXXXXXXX
メールアドレス


■ 詳細情報を確認するとき



① を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

② 4～8桁の端末暗証番号を入力 を押す

詳細画面が表示されます。

●  : 基本画面と詳細画面を切り替えます。

●   : 登録情報が複数ある場合に表示を切り替えます。

2 を押す

メニュー画面に戻ります。

●  を押すと待受画面に戻ります。

個人情報の登録・修正

自分の名前や電話番号、メールアドレスが登録できます。

● 電話番号は自局電話番号を除き最大2件、メールアドレスは最大3件登録できます。

● お客様のメールアドレスの確認方法→P262

1 待受画面で 「0 自分の電話番号を見る」を押す

2 4～8桁の端末暗証番号を入力 を押す

個人情報登録
名前を
入力してください
◀

3 名前を入力▶(決定)を押す

個人情報登録 ドコモ太郎
フリガナを 入力してください
ドコモ太郎
◀

入力した名前のフリガナが自動的に入力されています。

- 漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。
- 全角で最大16文字、半角で最大32文字入力できます。

4 フリガナを確認▶(決定)を押す

2件目の電話番号を入力するかどうかの確認画面が表示されます。

- 半角カタカナ、半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。
- 半角で最大32文字入力できます。

5 「1」入力する」または「2」入力しない」を押す

- 「1」入力する」：自局電話番号以外の電話番号を登録します。
- 「2」入力しない」：自局電話番号以外の電話番号を登録しません。操作8に進みます。

6 電話番号を入力▶(決定)を押す

3件目の電話番号を入力するかどうかの確認画面が表示されます。

- 最大26桁入力できます。

7 「1」入力する」または「2」入力しない」を押す

- 「1」入力する」：他の電話番号を登録します。操作6を繰り返します。
- 「2」入力しない」：他の電話番号を登録しません。

8 メールアドレスを入力▶(決定)を押す

2件目のメールアドレスを入力するかどうかの確認画面が表示されます。


- 半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。
- 半角で最大50文字入力できます。
- 何も入力しないで(決定)：メールアドレスを入力しません。操作10に進みます。
- 半角英字入力モード時に(1あ)：「.」「@」「-」など宛先によく使う記号を入力できます。

9 「1」入力する」または「2」入力しない」を押す

- 「1」入力する」：他のメールアドレスを登録します。操作8を繰り返します。
- 「2」入力しない」：他のメールアドレスを登録しません。個人情報を登録した旨のメッセージが表示されます。

10 決定を押す

基本画面に戻ります。

● を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 自分のFOMA端末の電話番号（自局電話番号）はFOMAカードに登録されているため修正できません。それ以外の項目を登録すると、FOMA端末に記録されます。
- 個人情報のメールアドレスを変更しても、i モードのメールアドレスは変更されません。また、i モードのメールアドレスを変更しても、個人情報のメールアドレスは自動的に変更されません。
- 個人情報（詳細）画面からも同様に操作できます。